アンデレ宣教神学院

Andrew Evangelistic Seminary

２０２１年５月開講

目　次

ごあいさつ …… 2
一般信徒コースの特徴 … 3
当神学院の目指すもの … 4
教義 …… 5－6
教授紹介 …… 7－8
学習内容について …… 9
授業科目 …… 10
授業料その他 …… 11－12
規則・規定 …… 13
入学手続き …… 14
バックボーンについて … 15
アクセス・連絡先 …… 16

ごあいさつ

このコースでは、聖書と神学の基本を学び、キリスト者としてしっかりとした信仰を培うこと、関わる人々に自分の言葉で証しができるクリスチャンの養成を目指します。

アンデレ宣教神学院代表
万代　栄嗣

２０２１年、アンデレ宣教神学院は新しいシステムに移行しました。従来の牧師・伝道者コースに加え、一般信徒コース、奉仕者コースが開設され、一部オンラインでの受講もできるようにしました。

この一般信徒コースで学ぶことにより、クリスチャンとは何か、自分の信じているキリスト教はどのようなものかを学ぶことにより、キリスト者としての前向きで安定した信仰生活を送ることができるようになるでしょう。

また周りの人々に、自分の信じているものを自分の言葉で証しできるようになれば、関わる人々を教会に導くチャンスも生まれ、より充実した教会生活を実現することができます。

日本のみならず、現代社会の状況は日々大きく変化し続けています。教育、文化、経済のいずれにおいてもいまだかつて経験したこともない大変動です。激動の時代に生きる日本人をイエス・キリストの救いに導き、確かな信仰生活の導き手となるのは、ひとり一人のクリスチャンなのです。

信仰の成長を願う全てのクリスチャンに学んでいただきたいコースです。ぜひ一歩踏み出して学びに参加してください。

一般信徒コースの特徴

一般信徒コース！

クリスチャンの基本的な信仰姿勢を培うのに最も適した学びを、より多くの方々に広く提供する目的で開設されたのが、このコースです。

クリスチャンとして必要な聖書の基礎知識を学び、訓練を受けたい、または周りの人々にもっと証しをして教会に導きたい、自分自身の信仰の成長のためにもっと聖書の学びをしたい、と願われる方に最適のコースです！

１年間の短期コースです！

皆様より、「わかりやすい聖書の学びを短期間でしてみたい」「クリスチャンとして人々を導くためのノウハウを身につけたい」という要望が多く寄せられ、その要望にお答えするために創設されたコースです。
①わかりやすい②学びが短期間である③恵まれる、という3つのモットーを基本にしていますので、クリスチャンになって間がない方や勉強が苦手な方でも大丈夫です！

現代の日本社会に通用し、存在感のあるクリスチャンになる！

集中スクーリング制により、母教会での奉仕や礼拝を休むことなく学ぶことができます。当学院で学んだ内容を日々の生活や教会での奉仕に活かし、フィードバックすることにより、学んだ内容が身につき、クリスチャンとしての自信を持つことができます。また、学びの内容は、現代日本社会の現状に即しており、一般的な日本人に対する証しのための多くのヒントを得ることができます。

オンラインでも受講できます！

松山の教室での受講が基本ですが、ご事情により通うことができない場合は、オンラインでの受講も可能です。
オンラインで学ぶことが困難な実践的な学びなどの補填が必要となりますので、年に数回松山での補講を受けていただくことになります。
授業以外での学生同士や教授との関わりの中で得られる貴重な体験や学びも多くありますので、基本的には教室での受講をおすすめしています。

各コースの仕組みと説明

牧師･伝道者コース合計３年
プロの牧師･伝道者となるために、教会奉仕者コースのあと、さらに１年高度な学びと訓練をします

教会奉仕者コース合計２年
教会スタッフや奉仕者、日曜学校の先生、グループリーダーとなるため、一般信徒コースに加え、より深い学びと訓練をします

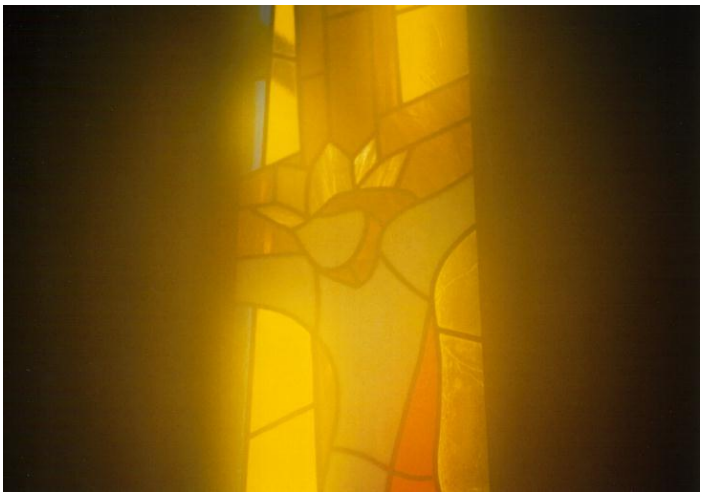
一般信徒コース１年
誰でも学べるわかりやすいキリスト教の基礎コースです
（オンライン可）

聴講制度
一般信徒コースの一部を成績や資格獲得を目的とせず１科目から学ぶことができます
（オンライン可）

当神学院の目指すもの

アンデレ宣教神学院は、キリスト信仰の現代社会における妥協を許さない実践のために、福音宣教のために献身を決意した者たちを教育・訓練し、将来の様々な分野における効果的な伝道活動へと送り出す、福音主義信仰に立脚した神学校です。当学院は、設立母体である宗教法人・日本福音宣教会の幅広い宣教活動の一部として運営されますが、日本福音宣教会が従来、超教派の立場を貫いて、福音宣教に携わっていると同様に、当学院は多くの教派・教団、あるいは単立教会等から、超教派的視点に基づき、生徒を募集しています。

当学院では、現代人に一番欠けており、なおかつ最も必要としているものは唯一まことの神への信仰である、との確信に基づき将来のキリスト教界を背負って立つべき人材に、伝統的な神学教育の成果と現代社会に十分に通用する、実践面の伴った信仰の基礎を提供することを目的としています。当学院が志向するキリスト教職者となるものたちへの専門教育とは、ただ単なる知識の伝達、技術の伝授を意味するのではなく、授業時間以外でも教師・学生達との交わり、宣教実践などを通し、個々人と積極的に関わることにより、純粋な信仰、徹底した学び、妥協のない実践、そして鋭敏な霊性を兼ね備えたスケールの大きな神の器を生み出すことにあります。



PRINCIPLE［教義］

アンデレ宣教神学院において尊守される教義・信仰告白は、聖書の権威に正しく基づくものであり、初代教会以来、キリスト者の信仰と実践の中で厳格に検証され受容されてきたものでなければなりません。当学院の超教派的視点に基づき、総括的には、使徒信条をはじめとする初代教会の信条、また伝統的なプロテスタント教会における信仰告白を認めるとともに、具体的には日本福音宣教会の教義に従って、以下に示した信仰告白を尊守します。

Ⅰ．私達は、唯一まことの神、霊であり全てのものの創造主なる神を信じます。神は全知全能愛と義に満ちた完全な神であられ、本質においてまったく一つでありながら、父・子・聖霊の三位一体なる神として永遠に存在しておられます。神は万物を無から創造され、全てを保ち支配しておられます、創造された世界を通して御自身を啓示される神は、明確な救いの意図をもって人間歴史に介入され時には言葉をもって語り、あるいは様々な出来事によって御自身を示されました。この救済の歴史は、肉となられた生ける神のことばであるイエス・キリストのうちに完成し、その事実は聖書に示され、聖霊の働きにより私達に明らかにされます。

Ⅱ．私達は旧・新約聖書が神の霊感によって書かれたものであり、神の自らに関する啓示の最も本質的かつ信頼できるものであり、神が人の救いのために示された意志の完全な啓示であること、また、全てのキリスト者の信仰と日々の実践のための誤りなき原則、至上の権威であることを信じます。聖書各巻は初め信仰者であるそれぞれの著者により、神との交わりの中で特定の歴史的背景・目的をもって書かれましたが、その過程は聖霊の明確な指導と監督のもとに行われ、この結果、聖書は今も生きて働く神の御言葉として、変わることのない神の御旨を私達に示しています。

Ⅲ．私達は、イエス・キリストが聖霊によってやどり、処女マリヤより生まれた方であり、真の神、真の人であることを信じます。彼は神のひとり子でありながら、人としての生活を全き柔順のうちに成し遂げられ、神の救いの計画が彼の到来により成就したことをその教えとわざの中で証明されました。彼は私たちの罪のために犠牲となり、身代わりとなって十字架上で死なれ、葬られ、私達の罪をあがなったのち、３日目に死より甦り、死と闇の力に打ち勝たれました。その後、天に上り、父なる神の右の座につき、私達の大祭司としてとりなしをしていてくださいます。彼は全てのキリスト者の主であり、全てを父なる神と共に治めておられます。

Ⅳ．私達は、聖霊が私達の内に働いて罪を示し、罪の悔い改めに導き、イエスを主であると告白させ、完全な新生を与え、キリスト者の内に住みたもう方であることを信じます。聖霊は、助け主、慰め主として私達と共におられ、絶えずとりなし、私達を聖化し、神への奉仕と日々の生活のために力を与えてくださる方であることを信じます。

Ⅴ．私達は、神が人を、被造物のかしらとして神との交わりに生きるように、ご自身のかたちに創造されたこと、また、悪魔に誘惑され人は意図的に神に反逆し、罪に堕ち、失われたものとなり、神の怒りを身に負い、いかなる努力や行いによっても神との交わりにある真の霊的生活を回復することはできないものであることを信じます。人は生まれながらにして、また、意識的にも罪のために堕落しており、救い主イエス・キリストによる罪のあがないによらないでは、ただ永遠の滅びにいたるばかりです。

Ⅵ．私達は、イエス・キリストの流された血潮と彼の復活のみが人の救いを可能ならしめることまた、人はイエス・キリストを信じ受け入れ、罪を悔い改め、全身全霊をもってキリストに従う信仰によってのみ、備えられた神の恵みにより、罪を許され、義と認められ、新生にあずかることを信じます。この救いにあずかることにより、私達は罪の支配と刑罰から解放され、神の子として永遠のいのちを受けることができます。

Ⅶ．私達はイエス・キリストによってあらわされた神の恵みにより、御言葉の学びと祈りとにより、日々祝福のうちを歩むものとされたことを信じます。新約聖書に示された聖徒たちの信仰による経験が、今日のキリスト者にも与えられるものであると信じ、神癒・異言・聖霊の賜物と実などに表される豊かな聖霊の働きの中に生き、キリスト者としての節度ある生活を営むことができます。また、常に喜び、救いにあずからせていただいた神の選びの恵みに感謝しつつ、世の光、地の塩であるキリストの証し人として生き生きと歩み、主の再び来たりたもう日を待ち望みつつ、福音伝道に励みます。

Ⅷ. 私達は洗礼と聖餐とが今日の教会において執り行われるべき礼典であると信じます。洗礼は、イエス・キリストを主と信じ告白するもののみに授けられ、罪の身が十字架に死に、復活において新生にあずかることを象徴し、聖餐は、イエス・キリストのあがないの死を記念するものであり、私達の救いの原点を確認し、主の再臨に至るまでの希望と、私達に課せられた使命とを再確認させるものです。これらの二つの礼典は、個々人が神への正しい信仰をもって享受するときに真に意味を持つものであり、礼典そのものが救いへの手段ではありません。

Ⅸ. 私達はまことの普遍的教会とは、イエス・キリストを信じる信仰により、あがなわれ、新生にあずかったものたちが、共に集まり、結びつけられて形成されるものであり、キリストのからだであり、そのかしらは救い主イエス・キリストであることを信じます。各個教会においては、神への礼拝がもたれ、御言葉が語られ、礼典が執り行われ、全てのものを救いに導くため日々の牧会・伝道活動を通して、福音が述べ伝えられ、全ての信徒がひとしく福音伝道に携わります。私達の生活は、礼拝を守ることから始まり、神の救いを喜びとし、御言葉を学び、祈りをなし、人々のありのままの必要に対処しつつキリストを証し、兄弟姉妹と祝福を分かち合います。

Ⅹ. 私達は主イエス・キリストの再臨を信じます。神の救済の歴史はキリストの再臨によって全く完結し、神は人を死から甦らせ、全てのものを生前の行いについて裁かれます。神を認めず罪にとどまったものは永遠の刑罰として神の臨在から隔絶され、キリストの救いにあずかるものは栄光の身体を受け、神と共に交わり、生きる、永遠の祝福が与えられます。再臨の主は全てのものを新たにし、神の国を完成されます。

教授紹介

万代栄嗣（まんだい　えいじ）：代表、日本福音宣教会・松山、東京、神戸、広島、高松福岡、鹿児島、大洲、各福音センターの主任牧師

アメリカ留学で培った広い視野と神学的基盤をもとに、神のことばとしての聖書を現代人としていかに正しく読み、どのように現代社会に適用するか、そのために必要な信仰の心構えと学問の姿勢を体系的に講義する。二代目牧師としての視点と、講演、執筆、音楽活動や海外の神学校教授、海外伝道などの広範囲な活動を通して、最新の聖書学・神学の成果を福音宣教の働きに統合することを目指す。バンド活動では、ヴォーカルとギター担当。

神戸大卒、オラル・ロバーツ大大学院修了。

藤林イザヤ（ふじばやし　いざや）：京都福音教会・京都中央チャペル主任牧師

当神学院の卒業生のなかでもトップの実力を誇り、伝道と学びに対するバイタリティー溢れる姿勢には圧倒される迫力がある。聖書の知識と、個人伝道から大規模なクルセード、ビジネスセミナーなど様々な経験と IT 関連の現代的手法も積極的に取り入れ、実践に生かせる有益な学びを提供する。個々の学生のニーズに応えて丁寧に指導する。

同志社大卒、日本 IBM 勤務、アンデレ宣教神学院卒、同志社大神学部博士課程。

岡照芳（おか　てるよし）：日本福音宣教会・松山福音センターおよび東京福音センター伝道師

豊富な知識に基づき、聖書の学びに関する基本姿勢と聖書の基礎知識について丁寧に指導する。

高校の国語の教師としての経歴が活かされた、分かりやすくまとめられた授業、聖書に対する文学的解釈や、ギリシャ語のユニークな授業も学生たちに好評である。大学時代は、教授から俳句の才能に期待されていた。

静岡大卒、アンデレ宣教神学院卒。

大野裕彦（おおの　ひろひこ）：日本福音宣教会・松山福音センターおよび広島福音センター伝道師

同志社大学神学部を経て、アンデレ宣教神学院を卒業。抜群の記憶力とクリスチャンホームで培った知識と経験、松山福音センターでの伝道、牧会経験は、授業においてもその威力を大いに発揮する。

祈祷会や路傍伝道などの実践的な科目も担当し、常に新しい試みにチャレンジしている。趣味はバイクのツーリング。

アンデレ宣教神学院卒。

久保内宣世：日本福音宣教会・高知西福音教会牧師
くぼうち　のりよ

牧師子弟として培った知識と経験、高知西福音教会での牧会経験をもとに、次代を担う者の視点を学生たちと共有し、後継者として期待される人材に有意義な学びを提供する。これからの教会のあり方を見据え、地方の教会の展開についても様々な実験を試みている。
ペットからパソコン機器まで多趣味で、どれもプロが意見を求めてくるほどの知識と技術を持つ。
四国学院大卒、アンデレ宣教神学院卒。

万代文女：元大学講師
まんだい　あやめ

一般心理学の分野での本格的な学びを提供してくれる。複雑な社会状況と、教育レベルの高度化した現代日本人社会の中で、牧師・伝道師を目指すものにとって、一般心理学は必修の科目と言える。
しかし、伝道、牧会、各種のカウンセリングの現場において、体系的な心理学の知識をどのように活かしてしていくかについての学びができる場所は少なく、大変重要で価値ある学びを提供している。
大阪大卒、神戸大大学院および愛媛大学大学院修了。

戒田節子：フリーアナウンサー・元南海放送アナウンサー
かいだ　せつこ

スピーチ・クリニックを担当。発声からスピーチまで、プロのアナウンサーとしての知識と経験に基づく本格的指導を提供。
アナウンサーコンテストでは、何度も日本一に輝き、ミュージカルの主催者として脚本、作詞作曲、主演をこなす多才振りで、言葉の表現のみならず表情やボディーランゲージまで、プロの説教者として通用するための基礎を教授する。毎回意表をつく授業で好評を博している。
日本大学卒。

その他、講義内容により各方面より実力派講師を多数特別講師として招へいしています。

学習内容について

バランスのとれた科目構成

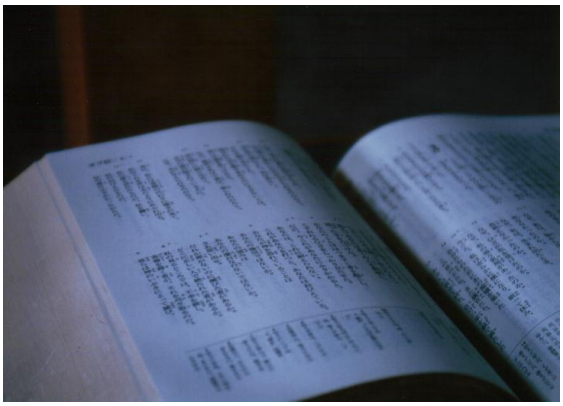
将来の働きに力を発揮する「聖書学」、「神学・歴史学」、「牧会・宣教学」「宣教実践」の４つの分野をバランスよく学びます。

開講科目

BIB・・・聖書学に関する分野　　THE・・・神学、歴史学に関する分野
MIN・・・牧会、宣教学に関する分野　　PRM・・・宣教実践に関する分野
初年度開講科目の詳細は次ページをご確認ください。

学習プログラム

アンデレ宣教神学院での、一般信徒コースの学習プログラムは、原則として１年の期間を必要とします。
学習は年３学期・１８スクーリングによる授業とスクーリング間に実施される課題とによって構成されます。
勿論、学生各人の事情により修業年限が１年を超える場合も十分に考えられますので、最長２年までの受講期間延長が可能です。それ以上の場合は所定の手続きによる許可が必要となります。



授業科目

学期	科目 ID	科目名	単位	概　要
1	BIB010	聖書概論Ⅰ	3	これだけは知っておきたい聖書の基礎知識を学びます。Ⅰは、創世記からエステル記までです。
1	THE010	神学概論Ⅰ	3	神とは、罪とは、三位一体とは？キリスト信仰の基本教理１５項目をわかりやすく学べます。
1	MIN010	キリスト者形成論	3	救われているとはどういうことなのか、また、キリスト者として大切な７つの原則と心構えにつ
2	BIB020	聖書概論Ⅱ	3	旧約聖書のヨブ記から最後のマラキ書まで、それぞれの内容、テーマ、背景、重要聖句を学びます。
2	THE020	神学概論Ⅱ	3	キリスト教会が誕生してから 2000 年、その歴史を学び、現代に生きる使命を実感します。
2	MIN030	福音宣教入門	3	福音宣教における概念的な部分と、実践部分とを併せて学び、個人の証しができるようにします。
3	BIB030	聖書概論Ⅲ	3	新約聖書の２９巻すべての内容、テーマ、背景、重要聖句など基礎的な知識をしっかり学びます。
3	THE030	神学概論Ⅲ	3	「神がいるなら見せて」等の質問にどう答えるか。
3	MIN040	教会形成論	3	教会のあるべき姿を考えながら、信徒としていかに教会を支えるか、その実際的な部分を学びま
通年	MIN050	キリスト者の積極思考	3	キリスト者としての積極的思考を聖書の御言葉をもとに身に付ける方法を学びます。
通年	PRM060	レポート作成講座	3	レポートや論文の書き方を学ぶコースです。文章作成技術を身に付けることができます。
通年	PRM070	伝道実習入門	3	路傍伝道を中心として、実際に街中で伝道をします。実地訓練と思ってください。
通年	PRM110	説教実習Ⅰ	3	担当教授の指導により、自らの証しを短いメッセージにまとめ、会衆の前で発表します。
通年	PRM020	スピーチクリニック入門	1	南海放送現役アナウンサーが、話し方の基本を、丁寧にかつ面白く指導してくれます。
通年	PRM090	伝道者としての英会話入門	1	英語で自己紹介ができ、証しができる程度までの英語力を身につけます。
通年	PRM080	コンピューター実習入門	1	パソコンは教会業務には欠かせません。ワープロソフトを始めパソコンを使えるように練習しま
通年	BIB080 THE080 MIN080	読書課題	各１	担当教授の選定した、各分野の入門書的な本を課題として読んでいきます。
通年	BIB190	聖書言語入門	3	聖書が書かれたギリシャ語とヘブル語の原文にふれながら、基本的な単語と文法を学びます。

■ 授業は、各学期ごとに終了するものと通年のものがあります。

■ 科目コードの内訳は、以下の通りです。

BIB…聖書学に関する分野　　THE…神学・歴史学に関する分野
MIN…牧会・宣教学に関する分野　　PRM…宣教実践に関する分野

授業料その他

開講期間（オンラインでの受講をご希望の場合は、ご相談ください）

１学期　５月～７月（３回：毎月１回）
２学期　９月～11 月（３回：毎月１回）
３学期　１月～３月（３回：毎月１回）

１回のスクーリングは、基本的に第２日曜日のあとの月曜日～土曜日の６日間です。

- 牧師･伝道者コースに準じ、月1回、1週間のスクーリング制です。
- 新年度は5月開講で、修了式と入学式が同時に行なわれます。
- 4月、8月、12月は休講です。
- 見学も可能です。(詳細はお問い合わせください)

スケジュールは変更されることがあります。事前に神学院事務局まで、お確かめください。

スクーリング中の宿泊

- **神学院付属の宿泊施設**があります。男子寮・女子寮完備：1 泊 1,000 円。

ご利用には事前に連絡が必要です。

- **松山市内のビジネスホテル**に宿泊することも可能です(料金実費)。

修了認定

規定の単位をすべて修得し、授業料を全て納め、認定試験の合格基準を満たしている場合、修了証が授与されます。

授業料

- **入学金**…30,000 円（払い戻し対象外）
- **年間授業料**…405,000 円（１学期 135,000 円×3）

分割払いも相談に応じます。

支払い規定

- 設備費は年度初めのスクーリング初日までに、授業料は、各学期第1スクーリング初日までにその学期に受講する単位数に相当する金額を全額銀行振込あるいは当学院事務局に納入のこと。分割して支払うことを希望する者は、必ずその旨を事務局に事前に連絡し、納入方法と金額を相談し決めて別所定の書類を提出すること。
- 通年科目の授業料は、第1学期に全額支払うか、あるいは各学期に対応する単位数分（通年3単位の科目ならば、1学期あたり1単位分）の金額を他の科目の授業料と共に納入すること。

払い戻し規定

- 授業の履修を放棄・辞退する場合、授業料払い戻し規定は次のとおり。
  所定の授業放棄・辞退届けの提出を完了した時点で、払い戻し金額の算出が可能になる。

各学期における第１スクーリング初日より第１学期スクーリング最終日まで	（授業料の７０％払い戻し）
第１スクーリング終了後より第３スクーリング開始前日まで	（授業料の５０パーセント払い戻し）
第３スクーリング終了後より第５スクーリング開始前日まで	（授業料の３０パーセント払い戻し）
第５スクーリング開始後	（払い戻しはありません）

通年授業については

第２学期開始前日まで	（授業料の５０パーセント払い戻し）
第３学期開始前日まで	（授業料の３０パーセント払い戻し）
第３学期開始後	（払い戻しはありません）

教会奉仕研修

ご希望によって、通常のスクーリング形式とは別に、寮生活をしつつ、日本福音宣教会　松山福音センターの準スタッフとして、毎日の活動的なプログラムを通じて、牧会・伝道の実地研修を積むことができます。
教会学校、家庭集会、青少年伝道、音楽伝道、放送伝道、コンピューター活用術など、教会や伝道の実践に沿っての研修です。費用、条件等はお問い合わせください。

規則・規定

成　績

アンデレ宣教神学院では、成績は通常下に示した４評価尺度によって表されます。

A ＝ 4.0	B ＝ 3.0	C ＝ 2.0	D ＝ 1.0
A^- ＝ 3.7	B^- ＝ 2.7	C^- ＝ 1.7	D^- ＝ 0.7
B^+ ＝ 3.3	C^+ ＝ 2.3	D^+ ＝ 1.3	F^+ ＝ 0.0(不合格)

D+、D、D−については、ある程度の学習内容の修得は認められるが、十分とは言えず、必修科目の場合、履習が義務づけられます。その他、次のような成績表記が用いられます。

W－ 各学期第５スクーリングが開始される以前に、ある科目の履習を放棄・辞退した場合に　与えられる。正式に辞退するまでの期間にしたがって、授業料の一部が返還され、成績評価の計算にＦ(0.0)はつかない。[ただし、第５スクーリング開始以降の放棄・ 辞については、Ｆ(0.0)が与えられるものとする。]

Ｐ－ ４点評価尺度とは無関係に、“合格―不合格”の判断で成績が表される場合その科目の 学習内容を十分に修得し、合格と判定されるとき、Ｐが与えられる。[ただし、Ｐは、４点評価尺度に基づく成績評価の計算には含まれない。]

Ｉ－ 健康上の理由など、特殊な理由で学期中途において、授業の履習継続が不可能となり、学生が将来同じ科目の最履習を望み、これを牧師が妥当と認める場合、Ｉを与え、成績の評価を次回の同科目受講まで保留する。

GPA－４点評価尺度に基づく成績により、個人の成績の平均を１単位あたりにつき算出した得点。

授業出席

○原則的に、学生は履習している全ての科目の全ての授業について、出席が義務付けられています。やむをえない理由のため授業を欠席した場合、欠席した授業時間数の合計が１科目につき、スクーリング１回分の授業数以内であるときには、特にペナルティーはありません。しかし、欠席時間数がその限度を越えた場合、その程度に応じて成績評価時にペナルティーとして減点が施されることがあります。(詳しい欠席限度数については、それぞれの科目の第１回目の授業において説明があります。)

○やむをえず欠席した場合には、欠席した授業の録画などで個別に学習し、遅れをとり戻さなければなりません。このために特別なレポートが課せられることがあります。

集会出席

○牧師・伝道者コースの学生は、スクーリングの期間中に行われている日本福音宣教会・松山福音センター等の公式行事、集会に、避けられない事情がある場合を除いて、当然出席するものと考えられます。

○ただ集会に参加するのみならず、神学生としての証しが立つように積極的に奉仕に関わることが期待されます。

入学手続き

この募集要項を読み、当学院への入学を希望する方は、入学願書を以下の要領でご請求ください。

願書請求方法

住所・氏名・電話番号・所属教会及び願書希望と明記の上、以下のいずれかの方法にて、アンデレ宣教神学院事務局までご請求ください。

電話：089-925-1499　FAX：089-925-1501

E-mail：aes@mission.or.jp

郵便：〒790-0807　松山市平和通１－６－６

本人が提出するもの

- 入学願書（写真貼付、個人履歴、入学の意志に基づく署名捺印、名刺等を添える）
- 入学志願者の信仰歴
- 入学志願者の将来の希望

その他の人からの推薦状

- 牧師による推薦状

入学志願者の信仰及び客観的視点から見た人間性を評価し、本人の賜物についての見解など。

この牧師による推薦状は、直接当学院に郵送されるものとし、入学志願者には公表しないこととし、客観的な評価を求める。

問い合わせ先

アンデレ宣教神学院　事務局

〒790-0807 愛媛県松山市平和通 1-6-6

TEL：089-925-1499　FAX：089-925-1501　E-mail：aes@mission.or.jp

URL：https://aes.mission.or.jp/

バックボーンについて

創設者：故 万代恒雄 牧師

アンデレ宣教神学院の母体となった日本福音宣教会・松山福音センターは、1956年に万代恒雄牧師が、東京より開拓伝道に着手するため単身来松したことにより始まりました。
この開拓は、無一文で始められ、幾多の苦難を経ましたが、神癒の旗印を掲げて語られた福音により、 聖書の約束のように数々の奇跡が現れ、教会の基礎が固められました。
開拓より10ヵ月で自給態勢が整い、7年目に松山市内に約100坪の土地を購入し、会堂が建設されました。

13年目、松山の教会は大きな試練の中を通されましたが、万代牧師はラジオ伝道の継続と海外伝道の新展開を志向します。この海外伝道は日本のキリスト教史に類を見ないユニークなもので、あくまで現地の人々を対象とし、万代牧師の語る英語によるメッセージにより、インド・ブラジルなどを中心に数千から数万の聴衆を集める大集会が開催されるようになりました。この働きは現在も継続され万代栄嗣牧師によりマレーシア・シンガポール・タイ・フィリピンへと拡大されつづけています。

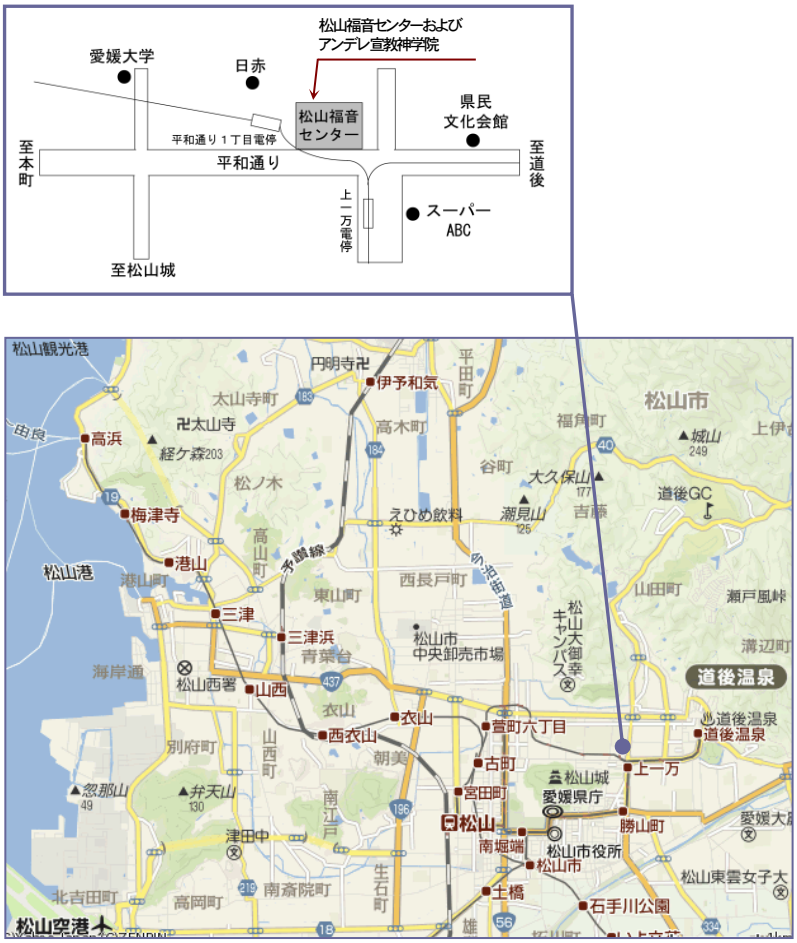
日本の魂の救いのための働きもその後着実に発展し、放送伝道・各種の出版物・各方面に対する講演会活動など、多角的な発展を見、特に多くの有能なクリスチャン・ビジネスマンがキリストの救いにあずかるようになってきたのです。こうしたところから、世界的な視野に基づいた独自の日本に対する伝道の方式が明確になってきたのです。日本での効果的な伝道活動を推進するためには、どうしても社会的に影響力のある働き人の養成が必要不可欠なのです。

実社会から隔絶された献身者の育成ではなく、社会との接点を多くもち、日本の社会に対して大きな影響力のある牧師・伝道者の養成がアンデレ宣教神学院の目指すところです。聖霊の豊かな働きを信じる福音的信仰と実践的行動科学のノウハウに溢れた授業内容により徹底的なキリスト信仰を土台に、将来起こるべき日本のリバイバルに必ず用いられる有能な牧師・伝道師を生み出す一大使命に燃えています。また、現在のキリスト教会が直面している世代交代に伴う牧師後継者のための教育にも注目し時代を担う器を輩出するために力を注いでいます。

アクセス・連絡先

アクセス

- 松山空港から……バスで約40分（リムジンバス南町下車徒歩5分または52番で上一万下車すぐ）
- JR 松山駅から……市内電車で20分（平和通1丁目または上一万下車）
- 松山観光港から……バスで約40分（リムジンバス南町下車徒歩5分）



連絡先

アンデレ宣教神学院

〒790－0807 愛媛県松山市平和通 1-6-6
TEL：089(925)1499 , FAX：089(925)1501
ホームページ：https://aes.mission.or.jp/
E メール：aes@mission.or.jp